

平成 28 年度第 2 回矢臼別演習場周辺まちづくり構想住民懇話会 会議録

【会議開催概要】

開催日時：平成 28 年 12 月 6 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

開催場所：別海町役場 3 階 301 会議室

出席人数：12 名（欠席 3 名）

オブザーバー：北海道防衛局企画部周辺環境整備課 課長補佐 池本 豊
施設対策第 2 係長 宍野 唯
施設対策第 2 係防衛事務官 杉山 亮介

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 前回の振り返り
- 3 議 事
 - 報告第 1 号 北海道防衛局との協議結果について
 - 議案第 1 号 基本計画で検討を進める施設及び建設予定地について
 - （１）まちづくり構想で整備を進める施設について
 - （２）建設予定地について
 - 議案第 2 号 今後の予定について
 - 議案第 3 号 施設機能と活用方法について（意見聴取機会）
- 4 閉 会

1 開会（司会 総合政策課長）

2 前回の振り返り

（事務局説明）

第 1 回矢臼別演習場周辺まちづくり構想住民懇話会の開催概要について説明。

3 議事

報告第 1 号 北海道防衛局との協議結果について

（事務局説明）

本構想により、（仮称）生涯学習センター及び防災食育センターを整備するにあたり、北海道防衛局と行った協議結果について議案 1 ページを用い説明。

（委員）

まちづくりという観点でずっと話し合ってきたが、その防衛局との協議の中で、まちづくりという観点がどのように反映されているのか。

(事務局)

本構想については、基本構想、基本計画、実施計画と3年間かけて策定することとしており、最終的には、(仮称)生涯学習センターあるいは防災食育センターの施設に関わる計画になる。昨年度の基本構想では、広くまちづくりについて計画を策定している。今年度の基本計画では、昨年度の基本構想を基に、(仮称)生涯学習センターあるいは防災食育センターの施設の中でどのように取り込んでいくかということの計画を策定することとして進めている。なので、防衛協議の中では、町が目指す施設はこういうもので、防衛省の補助要綱に沿ったときにどういう制約を受けるかという観点の話をしてくれている。

(委員)

ずっとまちづくりという観点でやってきたが、防衛局との話し合いの中で、それらが狭まったと考えて良いのか。町民大会等を開きながら進めてきたまちづくりの考え方を、どのように反映させるのか説明ができる形が何か必要なのではないか。

(事務局)

昨年度に策定した基本構想からは、今回の(仮称)生涯学習センターと防災食育センターの整備ということであるかと狭まっている状況ではあると思うが、別海市街地全体のまちづくりという観点で、町の総合計画を策定していく中で生かしていかなければならないと考えている。

3 議事

議案第1号 基本計画で検討を進める施設及び建設予定地について ※資料1

(事務局説明)

基本計画で検討を進める施設、施設機能、建設予定地について議案2ページ、資料1を用い説明。

(委員)

前回の段階から外された施設機能が結構多いが、これは事務局で外したものなのか、それとも防衛局から駄目だと言われて外したものなのか。

(事務局)

防衛局で外されたものではなく、これまでの検討結果を踏まえて、町で(仮称)生涯学習センターの中で整備を目指す機能の案として整理している。

(委員)

部屋の名前等をみていると、公民館をただ新しくするだけに見える。前回話したことが、全然反映されていない感じがする。

(事務局)

今回、(仮称)生涯学習センターとして施設整備を目指すに当たっては、基本的には中央公民館の代替機能を中心としながら、観光関係機能、福祉関係機能等について一緒に整備できないか検討を進めてきた。観光関係機能については一体的な整備が必要とは考えており、別の財源による整備

を検討していきたい。

(委員)

要するに、町民が一体となって、この（仮称）生涯学習センターの建て替えについての考えを出し合ってきたが、結果、ただの中央公民館の建て替えだというような印象は決して町民にとっては良くないのではないか。そこに町としての理念や考え方が反映されるものであってほしい。今後、どのように町民に伝えていくのかということは、この場の話ではないかもしれないが、是非考慮してほしい。

(事務局)

これらの機能の活用することによって、交流が生まれるような仕組みづくりというのは考えていかなければならない。議案第3号で、その辺の意見をいただきたい。

3 議事

議案第2号 今後の予定について

(事務局説明)

基本計画策定に係る今後の予定について議案2ページを用い説明。

3 議事

議案第3号 施設機能と活用方法について

(事務局説明)

ここでは、本構想で整備を進める生涯学習センターの施設機能と活用方法ということで、資料1の内容について委員の皆さんから以下の点について意見をいただきたい。

○(仮称)生涯学習センターの施設機能の確認と平常時の活用形態

- ・各諸室の過不足、諸室の使い方。どのような取り組みが行われることが望ましいか。

○災害時の活用形態

- ・考えられる有効な活用方法、忘れないでほしい機能や視点。

○町民と自衛隊員等との交流促進のための活用のアイデアについて

- ・どのような取り組みが考えられるか。

Aグループ

○(仮称)生涯学習センターの施設機能の確認と平常時の活用形態

- ・多くの町民に活用される施設となるような取り組みが必要
- ・ホールは最低でも800から1000席は必要。そうしなければ、事業の採算が取れない
- ・控え室(個室)は、2つは必要
- ・結婚式や葬儀など大規模な行事で使用できるような場所が必要
- ・ホールや調理実習室もあるので、スポーツ合宿の受入でも使用できるのではないか
- ・絵画の収蔵庫が必要(公共施設に展示している絵を周期的な入れ替えを行うための保管庫)
- ・町民活動を活性化させるため、中間支援センターが必要
- ・ペンキなど汚れることを気軽にこなえる部屋として工作室を使えると便利ではないか
- ・親子学習室や高齢者交流室などは、使い方を限定した部屋とはしない方がよいのではないか。多くの人が同じ部屋を使用することで無駄な部屋を作らなくてすむのではないか。
- ・ボランティアセンターが人の集まる場所にあることで、活動も活性化するのはないか
- ・新施設ができた場合、この施設で牛乳配付も行なうのがよいのではないか
- ・団体活動室は、団体活動に必要となるコピー機等の備品を配置することで、利便性の高い施設となる
- ・親子広場は開放的な空間の中に設置し、木のおもちゃに触れ合えるスペースが望ましい
- ・ギャラリーには作品展示をするため、壁にピクチャーレールが必要
- ・多目的トイレの設置は必要
- ・会議室が2つでは少ないのではないか
- ・大規模な施設になるため、警備や管理人のための部屋が必要
- ・道の駅には、観光案内所や物販、レストランスペースの外に温泉があると利用が増えるのではないか

○災害時の活用形態

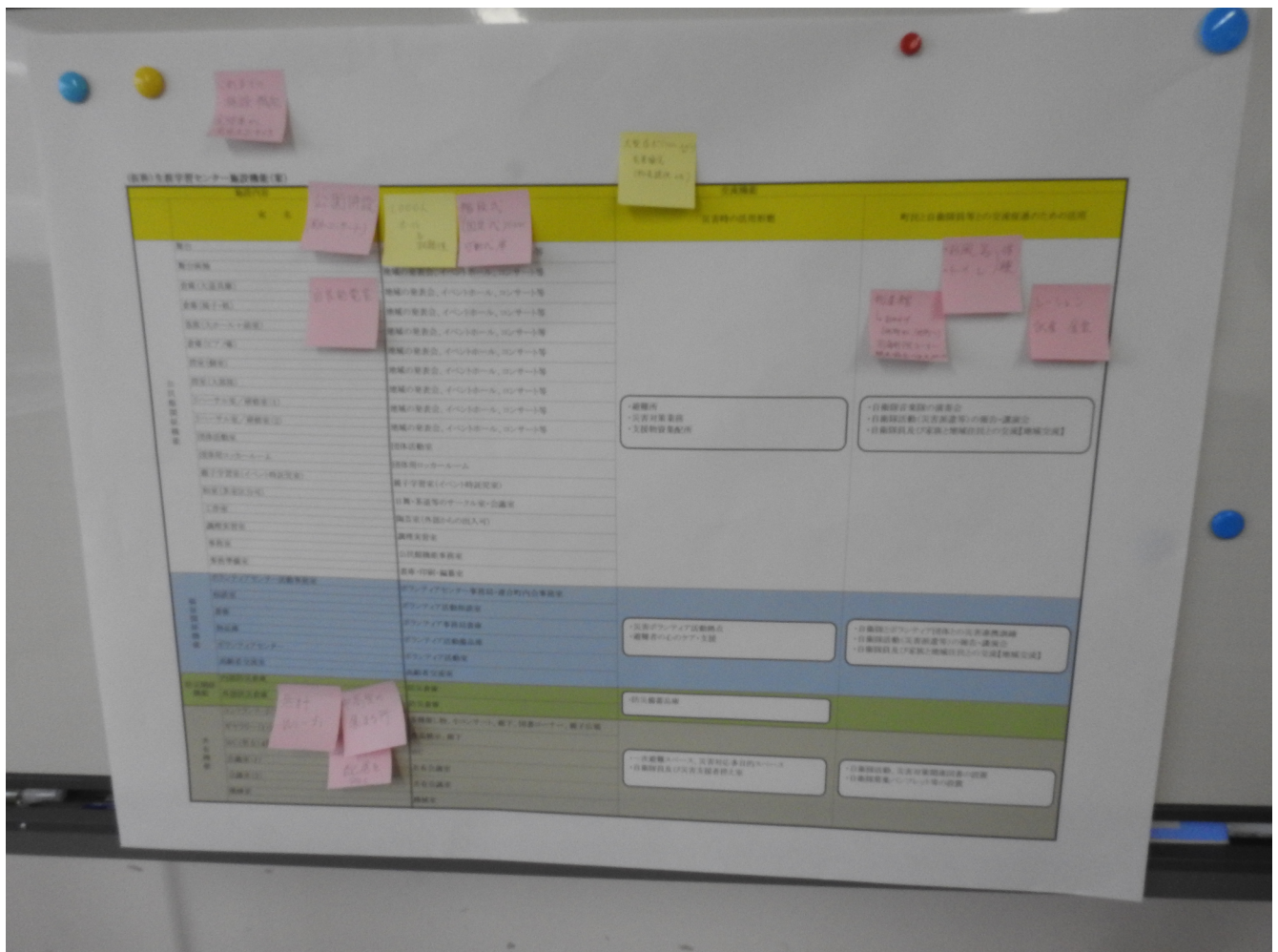
- ・調理室は災害時の食事の提供に必要。また、乳幼児や老人など特別な食事の調理スペースとして利用してはどうか
- ・避難所となることから、地下に貯水タンク等の設置が必要では

○災害時の活用形態

- ・自家発電が必要ではないか
- ・災害時の物資等の調達について、近隣の大型店と災害協定を結んではどうか

○町民と自衛隊員等との交流促進のための活用のアイデア

- ・物産スペースを設けて別海町のものを販売すれば、自衛隊員にも別海町をPRできる
- ・別海町のPRコーナーの設置
- ・自衛隊の食事メニューが試食できるスペース
- ・自衛隊の仮設風呂、仮設トイレの体験



4 閉会

